

日本遺産モデルコース 北前船寄港の軌跡から現在に残る民謡文化を堪能する旅

秋田県男鹿市は、日本海に突き出た半島地域。男鹿市南部に位置する「船川港」は、その地域の特性から、昔より船が避難する「風待ち港」として利用されてきました。また、「船川港」は北前船の寄港地として栄え、様々な寄港地より、物資のみならず文化も一緒に運ばれてきました。このように、北前船の巡航を通じて寄港地で紡がれてきた文化は、「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」として日本遺産に登録されており、男鹿市には「船川節（秋田船方節）」をはじめ、多くの構成文化財があります。ぜひ、秋田船方節全国大会の開催に合わせ、北前船が寄港した軌跡を巡る旅をされてみてはいかがでしょうか。

スタート

真山神社

真山神社五社殿（県指定文化財）には、北前船の船乗りたちが、海上安全、商売繁盛を祈願した墨書（落書き）が残されている。真山神社は「なまはげ柴灯まつり」が開かれることでも有名。杉木立に囲まれ、荘厳な雰囲気を感じることができる。

昼食

漁師町男鹿ならではの海鮮料理がおすすめ。入道崎では、多くのお店で「石焼料理※」が食べられるほか、市内には、地元産の海産物を使用したお店が多数ある。

※石焼料理・・・高温に熱した石を鍋に入れ、一気に魚介類を煮込む豪快な料理。漁師の料理が発祥となった男鹿の名物。

秋田船方節民謡碑

秋田船方節を普及させた功績から、男鹿にゆかりのある民謡歌手 森八千代氏を顕彰するため建てられたもの。秋田船方節のルーツは、島根県の出雲節にたどり着くとされており、北前船の巡航により、船乗りの間で「船川節」として唄い継がれてきたもの。毎年11月には、男鹿市で全国大会が開催されている。

秋田船方節
全国大会

毎年11月の第3日曜日に開催されている秋田船方節の全国大会。県内外から多くの民謡歌手が集い、自慢ののどを競う。一般来場者も観覧可能で、多くの民謡愛好家が来場される。

宿泊

男鹿温泉郷をはじめ、男鹿市には、多種多様な宿泊施設がある。男鹿温泉郷では、男鹿温泉交流会館 五風にて「なまはげ太鼓」のライブが行われており、圧巻の演出から、大人気のアトラクションとなっている。

寒風山
回転展望台

車で山頂までアクセスできる人気の景勝地。山頂にある回転展望台からは、男鹿半島を一望できるほか、北前船で当時使用されていたとされる船の「碇」が展示されている。



真山神社五社殿



石焼料理



秋田船方節全国大会



なまはげ太鼓



寒風山